

HES 認証登録制度

認証企業取り組み事例掲載

Hokkaido Environmental Management system Standard

北海道環境マネジメントシステムスタンダード



HESとは

国際規格であるISO14001を基本とし、
中小企業や各種団体等、多くの組織が容易に取り組める
環境マネジメントシステムとして（一社）北海道商工会議所連合会が中心となり
経済団体・環境関係団体・行政機関（北海道・札幌市）の協力を得て構築し、
より分かり易く、より安価で、より取り組みやすくしたもので
環境保全の取り組みと経営の安定を支援するためにつくられた環境規格です。



HES策定趣旨

経済の高度成長は、大量生産・大量消費・大量破壊という社会経済システムを作り出し、人類に便利で快適な暮らしを提供してきましたが、その反面、自然環境に多大な負荷を与え続け、地球温暖化やダイオキシン等の有害物質・大量の廃棄物発生へとつながり、私たちを取り巻く地域の環境のみならず地球全体の環境をも脅かすものとなってきています。

北海道に住む私達は、豊かで優れた自然環境に恵まれたこの大地から数多くの恩恵を受けてきましたが、この恵まれた環境を全ての人の財産として将来へ引き継いでいく責務を有しており、そのためには、今までのような20世紀型の社会経済システムから「環境の世紀」にふさわしい最適生産・最適消費・最少廃棄の社会である「持続可能な循環型社会」へと変えていかなければなりません。

このような社会の構築に向けては、個々の活動に留まらず、事業者、消費者、行政などが一体となって、問題解決のための具体的な行動を起こすことが重要となってきています。特に社会経済活動の中心となる企業活動においては、環境問題の深刻化に伴い、エネルギー対策・産業廃棄物等をはじめとする環境への取り組み姿勢が企業の存続にとって大きな課題となってきており、近年、その取り組みは「社会貢献の一つ」から「企業の業績を左右する重要な要素」あるいは「企業の重要な戦略の一つ」として事業活動の中に取り組みでいく動きが拡大しつつあり、事業者の環境経営の重要性に対する認識が、環境の保全とともに地域経済の活性化を可能とするものと考えられます。

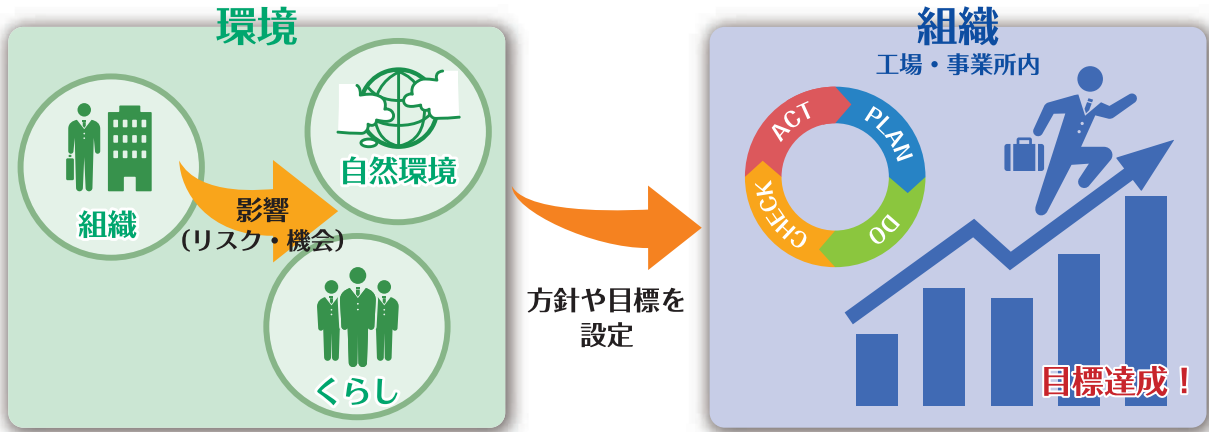
組織における環境への取り組みについては、ISO14001に代表される国際的な共通の規格に基づき、公正な観点から企業や団体の環境への取り組みを客観的に評価し、認証するシステムが標準化されており、認証取得する組織も増えてきておりますが、グローバルスタンダードとしてのISO14001の規格は、規模的・経済的・時間的等さまざまな理由で認証取得に取り組み難い組織が多くあることもまた事実です。

このため、このような状況を打開し、環境問題へ積極的に取り組む組織の底辺拡大を進め、環境と経済の両立を図るとともに、環境活動の輪を広げ、次世代へ良好な環境を継承することができるよう、中小企業や各種団体等多くの組織が容易に取り組みめるローカルスタンダードとして構築したのが「北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)」です。

環境マネジメントシステムとは



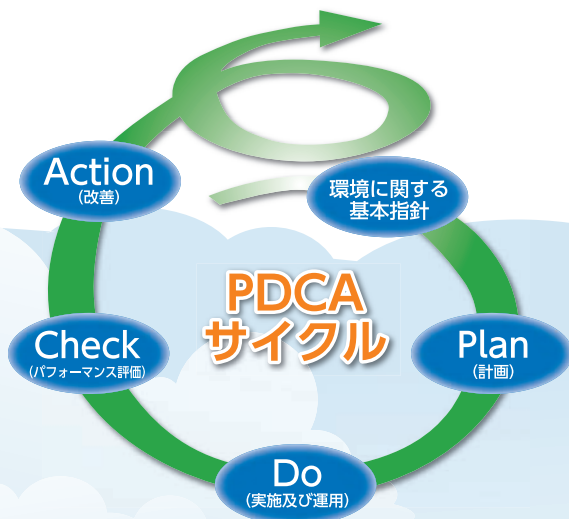
組織が事業活動を行う上で、環境に与える「影響(リスク・機会)」や、環境保全に関する取り組みを明確化して環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」といいます。このための工場や事業所内の体制・手続き等の仕組み(PDCAサイクル)を「環境マネジメントシステム」といいます。



HESのシステム



継続的な改善



HESはP→D→C→Aのサイクルを回す事により、環境保全活動の継続的な改善を図り、レベルアップしていくシステムです。

Plan 環境に関する各種取り組みの計画

事業活動が環境に与えている影響を洗い出し、それに対し何をすべきなのか計画を立てます。

Do 計画に基づいての実施及び運用

具体的な手順を定め、計画を実施します。

Check パフォーマンス評価

計画と実施した内容を点検し、その結果を最高責任者に報告します。

Action 改善

会社の最高責任者が計画等の変更の必要があると判断した場合、改善するための処置を取ります。

HESの特色



■取り組みやすい

- 組織の実態に即して、3種の規格があります。
- 構築の手引きやマニュアルサンプル等を用意しています。

ステップ1:環境問題に取り組み始めた段階

PDCAを回す最小限の範囲で、要求事項を簡素化しています。

ステップ2:環境問題への高度な取り組み段階

要求事項はISO14001とほぼ同等です。

産業廃棄物処理業者用システム規格

「産廃処理業者認定制度」に有効となる、産業廃棄物処理業者のための規格です。

■導入しやすい

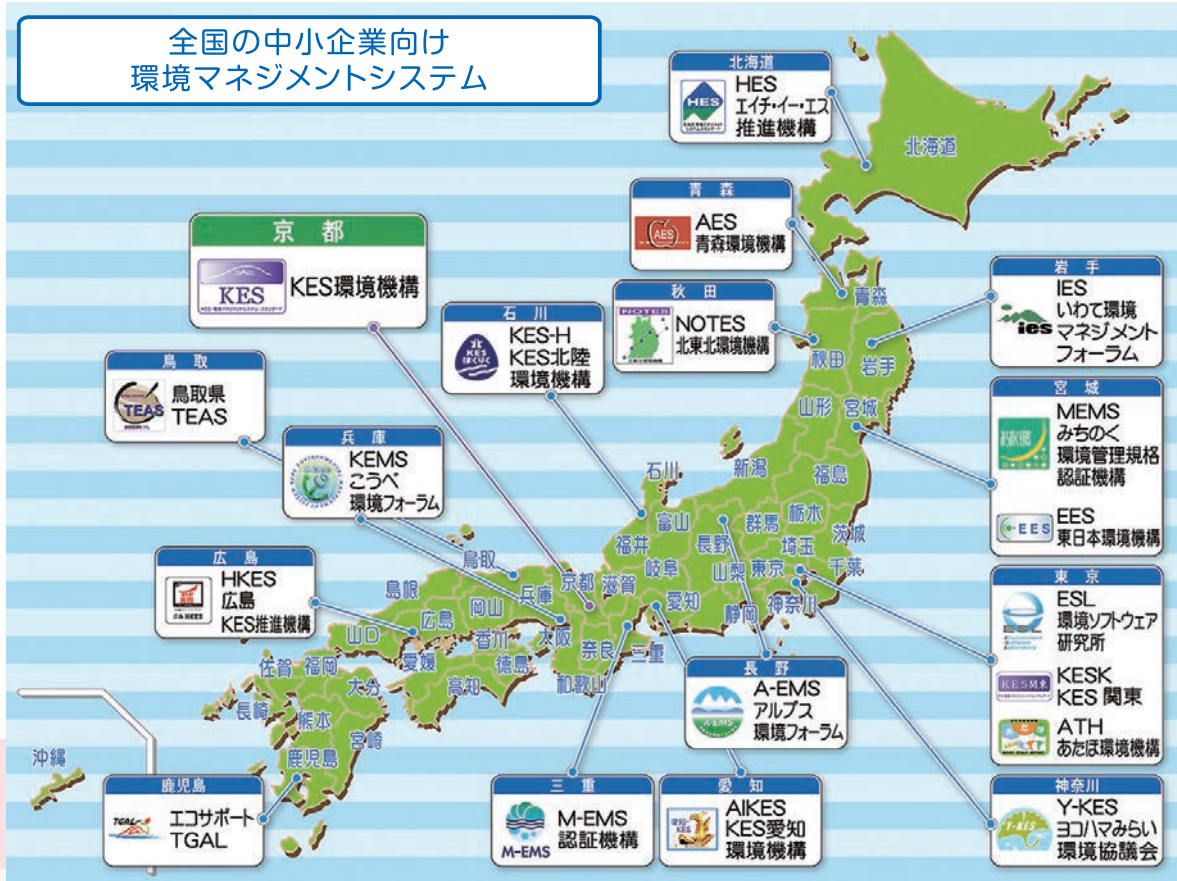
- 安価に取得することができます。

全国の中⼩企業向け環境マネジメントシステム



全国には京都に代表されるKESをはじめ19の中⼩企業向け環境マネジメントシステムがあります。

エイチ・イー・エス推進機構は、KES環境機構と協働活動契約を締結しており、HESステップ1(又はステップ2)の認証登録は、KESステップ1(又はステップ2)として相互認証され、KES環境機構のホームページでも掲載されています。



※特定非営利活動法人 KES環境機構提供

HES登録のメリット



注1：ステップ1・ステップ2適用事業者のみ
注2：産業廃棄物処理業者用システム規格適用事業者のみ

建設工事等競争入札参加資格審査などの加点について

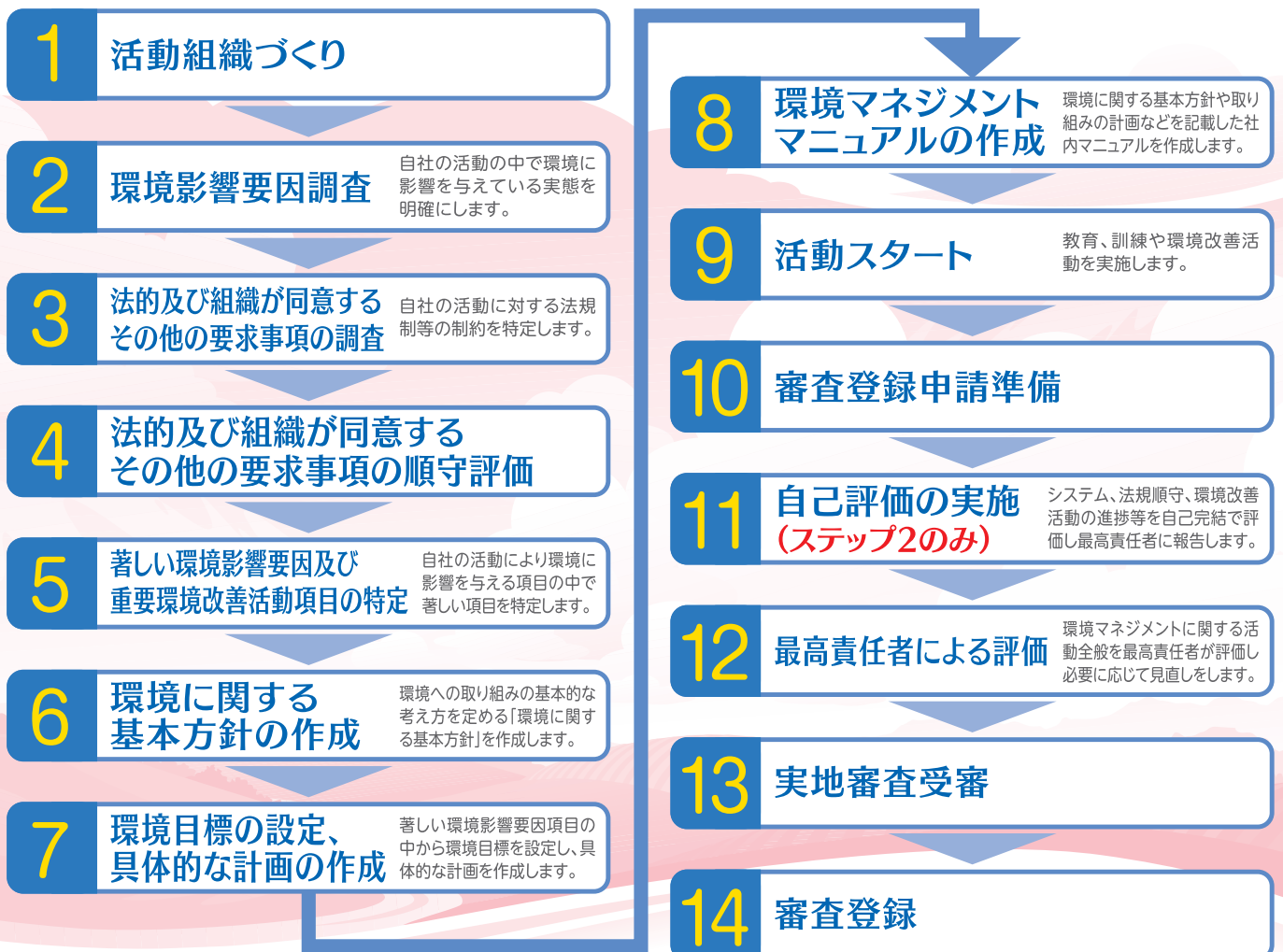


HESを競争入札参加資格審査の判断基準に設けている主な自治体

自治体名	資格名称	点数
北海道	令和5・6年度 建設工事等競争入札参加資格	3点
浦河町	R5・6年度 建設工事等競争入札参加資格	5点
釧路市	2023・2024年度 建設工事等競争入札参加資格	3点
伊達市	令和5・6年度 伊達市建設工事等入札参加資格	5点
千歳市	令和5・6年度千歳市競争入札参加資格	10点
名寄市	名寄市建設工事請負業者格付基準	3点
函館市	特別簡易型総合評価落札方式評価基準 (土木一式工事、建築一式工事、管工事、舗装工事)	0.3点
室蘭市	室蘭市建設工事等競争入札参加資格	5点

※ R6年1月現在の情報です。上記自治体以外にも加点対象としている自治体がある場合がございます。

HESの取り組み手順と取り組み内容(ステップ1、ステップ2)





HES認証登録事業所の 環境取り組み事例

環境経営に対する取り組みは様々です。

HESに認証登録している組織は、環境に配慮した取り組みを通じて、環境負荷の低減・コスト削減・従業員の環境に対する意識の向上に努めています。

- ◎建設業では…産業廃棄物の適正管理、低騒音・低振動の建設機械使用など
- ◎廃棄物処理業では…廃棄物の資源化、重機の効率稼働、低騒音・低振動の重機使用など
- ◎製造業では…システムの改善・開発、省電力の設備導入など
- ◎卸売・小売業では…商品管理の効率化・商品保管の安全な管理など
- ◎情報通信業では…システムの改善・開発、省電力の機器導入など
- ◎サービス業では…省電力の設備導入、車両の点検・管理など
- ◎学校では…環境教育活動、環境教材の作成、清掃ボランティアなど

多くの組織に環境経営に取り組むこと(=HES認証登録)への必要性をご理解いただければと存じます。

HESステップ1 HES1:0009

株式会社流研

当社は、業務用ソフトウェア開発およびそれに係るサービスの提供を行っています。ワークライフ・バランスにより仕事と家庭の両立を目指した活動にも取り組んでおります。また、令和3年9月には、SDGs宣言をし環境への配慮を含め、SDGsの達成に向けた取り組みを実施しております。

HES認証登録は取引先の意向とルール作りに基づく経費削減と環境保全を目的として、平成18年に開始致しました。

当社における環境方針のもと、省エネルギー、省資源、廃棄物削減を目的に一般廃棄物の分別徹底、こまめな消灯、認証システム複合機導入、また再資源化の取り組みとしてエコキャップ、リングプル収集等の活動を行っております。

グループウェアの確立により社員への情報伝達を確実に行える環境が整いましたので、全社員への周知徹底が可能となりました。

最近ではグループウェアを活用し、社内で使用できなくなったPCや社員から集まった食品を北海道IT推進協会へ寄付する等の活動を行っており、今後も継続して実施する予定です。

これにより次世代へ環境マネジメントシステムを継承し、会社としてだけでなく、個人レベルでできる環境保全についても社員ひとりひとりの更なる意識変化を求めています。



SDGs宣言書

所在地 札幌市中央区北1条東2丁目5番地 札幌泉第1ビル6F
創立年月 昭和57年8月
TEL 011-232-1371
FAX 011-232-1256
E-mail info#2020@ryuken.co.jp
URL http://www.ryuken.co.jp

HESステップ1 HES1:0025

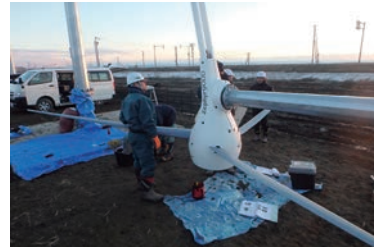
サンエス電気通信株式会社

当社は昭和22年、釧路管内浜中町で創業、昭和33年に法人化、昭和42年通信工事部門を新設、昭和45年に札幌支店を開設、昭和54年に「サンエス電気通信株式会社」に組織変更を行いました。令和4年に創業75年を迎え、新しい時代の活力ある企業として、電気・通信・情報・環境・新エネルギーの総合サービス企業へ向かって新たなステップを踏み出しております。

建設業において、工事が出る残材は分別されずに排出することが多く電線類のみ分別していましたが、環境への配慮、リサイクルへの関心と共に、環境法律関連の成立と相まってHESの導入に至りました。

当初は使用電力の削減、照明のLED化推進と排出ゴミの3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進及びグリーン購入の推進を行いながら、地球環境に配慮した事業活動を行っている中で、平成27年の国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs」に賛同し取り組んでいます。当社の環境目標は、「リサイクルの推進と排出削減」、「事業所内で使用する電気使用量の削減」、「グリーン購入の推進」の3つを掲げており、近年はCO2削減への取り組みも行っていきます。

導入当初は、社員の分別への意識が低く手間もかかり不満も多かったのですが、環境・リサイクルへの意識が向上し近年の新入社員はそれが当たり前になっており、排出物の分別の意識は定着しています。



小型風力発電工事

所在地 釧路市星が浦大通1丁目7番1号
創立年月 昭和33年4月1日
TEL 0154-51-2924
FAX 0154-53-3969
E-mail h-sato@sanesu.co.jp
URL <https://www.sanesu.co.jp>

HESステップ1 HES1:0035

土屋工業株式会社

当社は昭和32年、土木・建築工事業で営業を開始し、昭和48年にはガソリンスタンドを開設、オホーツク管内で地域に根ざした企業活動を継続してまいりました。

「企業活動には環境活動が必要不可欠である」という社長の考えから地域清掃ボランティアに取り組んだことにより、環境保全活動への関心が高まり、HES認証取得のきっかけとなりました。

当初は電気、紙、社有車の燃費等を目標に始めた活動ですが、当社の本業である建設工事で環境目標が設定できないか検討し、現在では労働災害ゼロ、交通事故ゼロ等を環境目標に設定して事故発生による対応や再発防止活動に係るエネルギー使用量を減少させることとし、定期的に安全教育や協議会、点検を実施し、安全と環境負荷削減に努めております。

その成果もあり、環境に係る事故やクレームは減少しております。

また、LED照明やオンライン設備、エアコン、ドライブレコーダー等の設備投資を行い、社員がより快適な環境で安全に作業できるよう努力しております。

2023年度より、SDGsの宣言を行い、ゼロカーボン・チャレ

ンジャーの運用を開始しております。HESを活用しながら環境負荷の低減を図り、資源循環型社会の構築を目指してまいります。



ボランティア清掃の様子



安全衛生委員会 雇入教育の様子

所在地 網走市北5条西7丁目14番地
創立年月 昭和32年2月25日
TEL 0152-44-7321
FAX 0152-44-2347
E-mail info@yama11.jp
URL <https://www.yama11.jp/>

HESステップ1 HES1:0069

札幌川重車両エンジニアリング株式会社

当社は札幌地下鉄の車両や地上設備の保守整備業務を目的として、昭和60年4月に川崎重工業株式会社のグループ企業として設立されました。

現在も、札幌市民や観光客の足として活躍する地下鉄や路面電車の日常検査や保守整備、地下鉄設備の更新・改造等の事業を行っています。企業理念「札幌市民の足として走り続ける公営交通の安心・安全な運行を支えていきます」を念頭に、従業員約40名が一丸となり、安定輸送の一端を担っています。

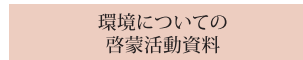
平成23年には、札幌市が掲げる「環境方針」や川崎重工業株式会社が掲げる「環境基本方針」に沿って、HESステップ1の認証を取得し、紙・電気の使用量削減、ハイブリットカーの導入による化石燃料の使用削減、グリーン購入や産業廃棄物のリサイクルに取り組んでいます。

取り組みの成果としては、従業員全員が日常業務の中で環境を意識するようになったことに加え、紙の削減や社用車のガソリン使用量の減少などという形で現れています。

当社が行っている活動内容は、事業を行う中では当たり前と思われる内容ですが、その当たり前を遵守していくことで、札幌市の企業として、また、川崎重工業グループの一員として、社会に信頼され、貢献できる会社を目指していきます。



節電のため昼休み時間は
消灯を励行



環境についての
啓蒙活動資料



ゴミの分別の徹底
(本社事務所)



所在地 札幌市中央区北5条西2丁目5番地Rタワーオフィスプラザさっぽろ14F
創立年月 昭和60年4月1日
T E L 011-281-1031
F A X 011-281-1032
E - m a i l ske_admin@corp.khi.co.jp
U R L <https://www.khi.co.jp/corp/ske/>

HESステップ1 HES1:0071

株式会社トーシン

株式会社トーシンは昭和39年より北海道十勝地方を中心に舗装工事業・一般土木事業を営んでおります。『開拓者精神を忘れない』『プロとしての仕事に誇りを忘れない』『環境と安全への配慮を忘れない』の3つの理念を大切に、事業運営と地球環境の保全を両立し、北海道の住みよい地域社会の実現のため取り組んでいます。

当社は、公共工事を受注し施工していく上で地域社会への貢献も重要な使命であると考え、平成23年にHESの認証を取得致しました。

当社の環境に関する基本方針では、事業で使用する「石油系燃料使用量の削減」や「上下水道の削減」、「グリーン購入の推進」、「産業廃棄物の管理」の4点を目標に掲げ、環境改善活動を展開しております。毎月の社内で目標の進捗状況を共有し、従業員の意識向上を図っております。

また、音更町環境生活課と協議の上、当社従業員全員で『不法投棄物回収作業』を毎年実施しており、R5年度で12年目となりました。毎年音更町より感謝状を頂いております。その他、音更町連合町内会と建設協会とで実施している『春と秋のクリーン作戦』にも参加して、積極的に地域における社会貢献活動を行っています。また北海道景観づくりサポート企業に登録し、企業の社会的責任を果たすべく取り組んでいます。



不法投棄物回収作業

所在地 河東郡音更町新通12丁目7番地
創立年月 昭和39年3月19日
T E L 0155-42-2343
F A X 0155-42-3175
E - m a i l info@toshin-com.co.jp
U R L <https://www.toshin-com.biz/>

HESステップ1 HES1:0081

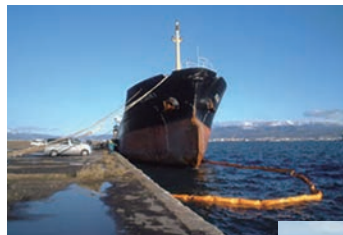
株式会社富士サルベージ

株式会社富士サルベージは昭和26年にサルベージ業（海難救助、海洋汚染防止等）を主事業として、創業致しました。以来、日本各地にて船舶の救助、船骸撤去、流出油の防除等を行い、サルベージ会社としての実績を積んで参りました。昭和43年には建設業許可を取得し、今日まで自社作業船を駆使し、港湾・漁港の建設、改修等の港湾土木工事、水産施設設置等の水産土木工事を行っております。

海の環境を守り育て、整備する中で、地球規模での環境問題にも目を向け、弊社としても環境に配慮した海洋環境づくりに取り組むべきであると考え、平成24年にHESの認証を取得致しました。

弊社は「環境負荷を低減する取り組み」と「エコドライブの推進」を環境目標に掲げております。環境負荷の低減としては、ごみの減量・管理や分別への意識改革の他、コピー用紙使用削減のためのデジタル化推進等を実施しています。また、遠隔臨場の活用で車両移動を無くしたり、ノーマイカーデーの実施によりCO2削減に加え、社員の健康増進を図るなど、より良い職場環境づくりを進めております。

弊社では、豊かな地域社会づくりとその発展に向けて社員と会社が協力し、良き企業市民の立場で北海道・函館の地域に根ざした様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。



油や浮遊物の流出防止



漁港清掃ボランティア

所在地 函館市大町8番25号
創立年月 昭和26年
TEL 0138-26-3911
FAX 0138-27-2870
E-mail k-suda@fujisal.com
URL <http://www.fujisal.com/>

HESステップ1 HES1:0121

石黒建設株式会社

当社は昭和初期に富山から入植し、函館市に起業した先々代の石黒組に始まり、昭和40年「石黒建設株式会社」として設立致しました。経験に裏付けられた確かな技術と広い視野に立ち、地域社会のニーズに適した果たすべき役割と責任に重みを感じながら事業を進めております。

HES認証登録の経緯としましては、企業理念「挑戦志向」「人間尊重」「顧客第一」「地域社会への貢献」に基づき、環境活動に日常的に取り組むことで、地域社会の一員として認めもらうため取得致しました。

当社は環境に関する基本方針で、「一般廃棄物対策として、リサイクルの推進」「事務所内で使用する、事務用紙の削減及び電気使用量の削減」「事業活動における化石燃料の使用を低減」の3点を環境目標として掲げており、環境影響の低減に努めています。

また函館市入舟町の海水浴場の清掃活動や、地域の中学校の整備活動等、地域貢献活動を行っております。当社では、この活動を通して地域を見つめ直し、人との繋がりを広げることによって、社会の発展と問題解決につながると感じております。

自らが地域社会の一員として、常に密接な連帯と協調を図り、地域発展に繋がる礎を築くべく日々研鑽を重ね続けております。



ボランティア活動の様子

所在地 北斗市東浜2丁目14-31
創立年月 昭和40年
TEL 0138-73-7443
FAX 0138-73-7460
E-mail kazuhiro@ishikuro.skr.jp
URL <https://www.ishikurokensetsu.com/>

HESステップ2 HES2:0005

国立大学法人 室蘭工業大学

創造的な科学技術で夢をかたちに」の実現のため、総合的な理工学教育を行い、未来をひらく科学技術者を育成しております。また、人間・社会・自然の調和を考えた科学技術研究を行い、知の拠点として地域や国際社会の発展に貢献することを目標としております。

平成31年4月に工学部から理工学部へ改組し、ものごとの本質を理解し、探究心を養う理工学教育をさらに充実させるとともに、ICTやAIを使いこなし、北海道のものづくり・価値づくりに貢献できる科学技術者を育成しております。これにより、「確かな研究力をベースとした教育力」で北海道を世界水準の価値創造の場へと導くことを目指しております。

本学は、平成21年にHESステップ2認証を取得し、地球環境と教育・研究の調和を追求し続けております。第一に環境保全に関する法律、規則等を順守し、エネルギー資源消費量やCO₂排出量の管理と削減に努めております。更に、教職員、地域住民が協力する地球環境を守る教育・研究活動を推進し、技術者倫理教育による社会的責任を自覚する人材の養成、環境教育と環境活動の積極的展開、環境マネジメントシステムの構築と改善等に取り組んでおります。このようなHESの取り組みを通じ、関係する人々の環境意識を高め、理系国立大学の立場で持続可能な開発目標SDGsの達成への貢献を目指しております。



室蘭工業大学のSDGs達成に向けた取り組み

所在地 室蘭市水元町27番1号
創立年月 昭和24年5月
TEL 0143-46-5000
URL <https://muroran-it.ac.jp/>

HESステップ2 HES2:0006

株式会社NICHIGO

当社は、昭和37年創立以来除雪関連製品の開発・製造を事業の中核とし、経営理念に「高い技術水準に基づいた優れた製品を顧客へ提供することを通じ、地域社会の生活環境の向上に貢献する」を掲げ、除雪機械のトップメーカーとして成長してまいりました。

すべての事業活動において環境に調和した事業活動と地域環境の保全の両立を目指し、自社の環境方針を制定・運用し、HESステップ2を取得しました。

紙・ごみ・電気の削減など基礎的活動については、計画通り目標を達成しており、電気使用量はLED照明やセンサーライトの導入などにより、コスト削減に繋がっております。その他、プラスの環境側面の推進として、会社周辺地域の清掃活動、環境対応型製品提案、リターナブル容器導入による梱包資材低減を環境目標として積極的に取り組んでおります。

また、当社は2030までの世界共通の目標「持続可能な開発目標(SDGs)」への取組や、カーボンニュートラルへの実現に向け、継続的に取り組みを進めております。経営理念に加え、HESの取組はSDGsや、カーボンニュートラルと軌を一にする部分が多くあると考えており、今後も事業活動と環境配慮への取組を紐付け、会社全体で地域社会の生活環境の向上に貢献してまいります。



LED照明やセンサーライトの導入



清掃活動

所在地 札幌市手稲区曙5条5丁目1番10号
創立年月 昭和37年4月24日
TEL 011-681-3116
FAX 011-682-1336
E-mail njmail@nichijo.co.jp
URL <https://www.nichijo.jp>

HES産業廃棄物
処理業者用システム規格
HESW:0007

エコライン株式会社

当社は、昭和42年に創業し、一般貨物自動車運送事業・一般廃棄物（伐採物、伐根等）や産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬・建設廃棄物及び産業廃棄物の中間処理を行っております。民間業者では、建設系産業廃棄物の中間処理施設の許可を札幌市内で初めて取得しております。

優良産廃処理業者認定制度に沿った高レベルの企業評価維持を目指し平成23年にHESを取得し、平成28年には優良産廃処理業者認定制度を取得致しました。

環境改善活動として、二酸化炭素排出量の削減や水資源の保全、循環型社会への対応、グリーン購入の推進を実施し、電気・水道・軽油・ガソリン使用量の削減、グリーン購入や産業廃棄物のリサイクルに取り組んでおります。

取組により令和4年度は、6項目すべての項目で達成率が100%を超えました。

特に廃棄物排出量削減の取組のなかで廃石膏ボードは、再資源化を積極的に進めた結果、リサイクル率は令和3年度の52%から令和4年度は80%に上昇しています。

今後もHESの取組を通じて、環境改善活動を継続し、お客様・地域の皆様から信頼される企業を目指します。



廃石膏ボード選別作業



選別後再生処理される
廃石膏ボード

所在地 札幌市白石区川下641番地170
創立年月 昭和50年10月24日
TEL 011-874-0570
FAX 011-873-2046
E-mail info@ecoline-kk.co.jp
URL https://www.ecoline-kk.co.jp

HES産業廃棄物
処理業者用システム規格
HESW:0009

函館環境衛生株式会社

私達は本社を函館市に、支店を札幌市・北広島市に有し、廃棄物処理業・下水管調査清掃維持、止水工事・浄化槽貯水槽の維持管理及び清掃・土木工事・管工事・水道施設工事などを業とし、昭和33年の設立から60有余年を迎えようとしております。

地域を代表する廃棄物処理業者として、社訓である『親切・丁寧・敏速』に基づき、従業員全員が人間としての正しい考え方・向上心・感謝の気持ちを忘れずに、最大の努力をして環境に配慮した活動に日々取り組んでいます。環境に関して更なる改善活動を進めていたところ、平成24年にHES認証登録のを知り、いち早く取り組むことになりました。

環境改善活動としては、二酸化炭素排出量の削減（エネルギー使用量の削減）、資源の保全（水・紙）、廃棄物排出量の削減、そのほかに自社の業務である産業廃棄物処理の受入量を大きくし、再生資源量を増やすことに取り組んでおり、計画通り達成しております。

最初の認証を受けてから10年が経過し、優良産廃処理業者認定も受け、全従業員における環境改善活動もすっかり定着しましたが、更なる意識の向上に邁進しており、スローガンである『健全で恵み豊かな環境を次世代へつなげていきたい』を実践していきます。ぜひ一度当社のホームページへアクセスいただき、環境改善活動に取り組んでいる様子をご覧ください。



廃油処理センター：中間処理後、再生油とセメントの燃料として資源化



汚泥脱水処理施設：中間処理後、セメントの原料等として資源化

所在地 函館市
創立年月 昭和33年3月27日
TEL 0138-51-7750
FAX 0138-51-7790
E-mail jigyo@hakodate-kankyo.com
URL http://www.hakodate-kankyo.com

HES認証登録事業者一覧(令和6年3月31日現在)

ステップ1(73件)



HES1:0003	株式会社ふじ研究所
HES1:0008	丸忠北都清掃株式会社
HES1:0009	株式会社流研
HES1:0010	株式会社イーアンドエム(特定非営利活動法人ライズを含む)
HES1:0011	千歳市環境整備事業協同組合
HES1:0021	中塚建設株式会社
HES1:0023	株式会社ピーアールセンター
HES1:0025	サンエス電気通信株式会社
HES1:0026	株式会社シーエーブイ
HES1:0027	株式会社サンエス・マネジメント・システムス
HES1:0031	株式会社トーホー・テクノス
HES1:0032	株式会社アペックスシステム
HES1:0034	株式会社環境整備公社
HES1:0035	土屋工業株式会社
HES1:0037	昭和工業株式会社
HES1:0039	坂野建設株式会社
HES1:0040	西岡建設株式会社
HES1:0041	株式会社アロー建設
HES1:0046	株式会社佐々木建設
HES1:0048	建成興業株式会社 江別支店 生産工場
HES1:0051	恵庭建設株式会社
HES1:0060	茅沼建設工業株式会社
HES1:0062	株式会社出口組
HES1:0065	株式会社M z 原田
HES1:0066	総合設備株式会社
HES1:0069	札幌川重車両エンジニアリング株式会社
HES1:0071	株式会社トーシン
HES1:0072	株式会社菊水
HES1:0074	株式会社SACOM
HES1:0076	株式会社大野組
HES1:0079	近藤建設株式会社
HES1:0081	株式会社富士サルベージ
HES1:0082	株式会社谷組
HES1:0083	吉建設株式会社
HES1:0085	大野土建株式会社
HES1:0086	株式会社永井組
HES1:0092	株式会社小林組
HES1:0093	株式会社草塩建設

HES1:0095	株式会社大坂建設
HES1:0097	株式会社坂下組
HES1:0101	徳井建設工業株式会社
HES1:0102	公益財団法人札幌市公園緑化協会
HES1:0104	鈴木工業株式会社
HES1:0106	和工建設株式会社
HES1:0109	幌村建設株式会社
HES1:0110	株式会社苫小牧清掃社
HES1:0111	株式会社工藤組
HES1:0112	岡本興業株式会社 開発事業部
HES1:0113	株式会社札幌中央清掃社
HES1:0114	北海道ペットボトルリサイクル株式会社
HES1:0115	株式会社藤岡建設
HES1:0116	武ダ技建創株式会社
HES1:0117	伊藤アスファルト建設株式会社
HES1:0120	環境コンサルタント株式会社
HES1:0121	石黒建設株式会社
HES1:0122	ガイア工業株式会社
HES1:0123	柴田興産株式会社
HES1:0124	株式会社大宮ホーロー北海道製作所 本社
HES1:0125	有限会社厚岸清掃社
HES1:0126	光建工業株式会社
HES1:0127	アイ・リンク株式会社 本社
HES1:0128	株式会社野田組
HES1:0129	三共舗道株式会社 本社
HES1:0130	渡部建設株式会社
HES1:0131	環境エンジニアリング株式会社
HES1:0132	イチエイ山田建設株式会社
HES1:0133	株式会社協成建設
HES1:0134	タニケン工業株式会社
HES1:0135	株式会社阿部組
HES1:0136	株式会社大正製材
HES1:0137	マルコー開発株式会社
HES1:0138	株式会社北英建設
HES1:0139	株式会社北海道東光興業所 本社

ステップ2(8件)



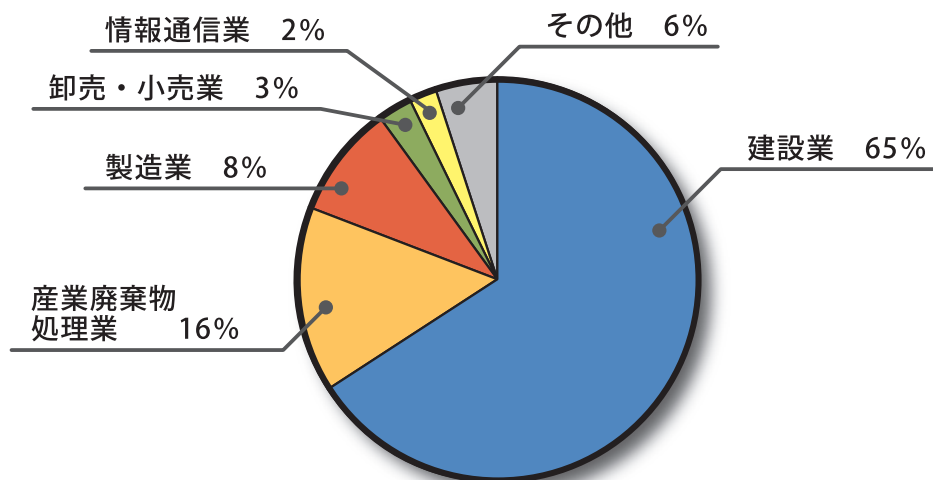
HES2:0005	国立大学法人室蘭工業大学
HES2:0006	株式会社NICHIO
HES2:0007	株式会社ジーエス・ユアサバッテリー 北海道支店
HES2:0008	千代田電装工業株式会社
HES2:0009	三晃金属工業株式会社 建材事業部 江別製作所
HES2:0010	三堅工業株式会社 札幌工場
HES2:0011	ワコオ工業株式会社
HES2:0012	株式会社新宮商行 銭函工場

産業廃棄物処理業者用システム規格(7件)



HESW:0005	株式会社エース・クリーン
HESW:0007	エコライン株式会社
HESW:0009	函館環境衛生株式会社
HESW:0011	株式会社山拾村上商店
HESW:0013	札幌第一清掃株式会社 発寒エコセンター
HESW:0014	株式会社丸興産業
HESW:0015	株式会社アシスト

HES認証・登録業種別割合(令和6年3月31日現在)





1. 審査及びコンサルティング標準料金

令和元年10月1日現在

区分	事業者規模	ステップ1		ステップ2及び 産業廃棄物処理業者用システム規格		
		料金(税込)	登録審査員・時間	料金(税込)	登録審査員・時間	
審査	新規登録	一般事業者	88,000円	書類1名4時間(1回) 実地1名7時間(1回)	215,600円	書類1名4時間(1回) 実地1名14時間(1回)
		小規模事業者	55,000円	書類1名3時間(1回) 実地1名6時間(1回)		
	定期	共通	38,500円	実施1名4時間(1回)	66,000円	実施1名4時間(1回)
	更新	一般事業者	77,000円	実施1名7時間(1回)	99,000円	実施1名7時間(1回)
		小規模事業者	55,000円	実施1名6時間(1回)		
	臨時 変更	共通	別途積算		別途積算	
コンサルティング	共通	55,000円	1名計12時間 (1回4時間×3回)	99,000円	1名計16時間 (1回4時間×4回)	

- 注1 エイチ・イー・エス推進機構でいう小規模事業者とは、常時使用する従業員の数が20人(商業又はサービス業に属する事業を主たる事業として営む者については、5人)以下をいいます。
 2 本料金表は標準的なものであり、組織の規模等により審査のための人員又は時間(日)の増加が必要となる場合は、別途積算します。
 なお、標準的なものとは、おおむね従業員数が100人以下であって、かつ、サイト数が1である組織をいいます。
 3 登録審査員が対象サイトまで移動する、又はサイト間を移動するなど交通費が必要な場合には、別途交通費の実費を加算します。
 4 遠方での審査及びコンサルティングで宿泊を伴う場合は、別途宿泊費の実費を加算します。

2. 構築講座受講料金

開催区分	料金(税込)	日数
集団	11,000円	1回(6時間まで)
個別	22,000円	1回(3時間を超え6時間まで)
	11,000円	1回(3時間まで)

- 注1 受講料は1社・団体当たりの料金です。
 2 テキスト代として、受講人数分を別途申し受けます。
 3 エイチ・イー・エス推進機構会則(平成16年7月20日施行)第5条に規定する会員については、開催区分が集団の場合に限り無料で受講することができます。
 4 開催区分が個別の場合にあつては、講師派遣に伴う交通費、宿泊費、会場費等の実費を負担していただく場合があります。

3. 関係資料

認証登録にあたり、適用する規格により以下の資料が必要となりますので、ダウンロードをお願い致します。

URL:<https://www.hokkaido.cci.or.jp/hes/hanbai.html>

名称	摘要		
	ステップ1	ステップ2	産廃業者用規格
北海道環境マネジメントシステムスタンダード システム規格書	○	○	
北海道環境マネジメントシステムスタンダード 産業廃棄物処理業者用システム規格書			○
北海道環境マネジメントシステムスタンダード 構築の手引き	○	○	○
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル ステップ1	○		
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル ステップ2		○	
北海道環境マネジメントシステムマニュアル サンプル 産業廃棄物処理業者用システム規格			○



エイチ・イー・エス推進機構 (事務局：(一社)北海道商工会議所連合会)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター

TEL:(011)241-6733 FAX:(011)231-0726

E-mail:hes@hokkaido.cci.or.jp <https://www.hokkaido.cci.or.jp/hes/>

